

## 宮崎市「事務事業の外部評価」 事業別判定結果シート

チーム名	第 2 チーム	担当課名	学校教育課
事業番号	2-18	事務事業名	教育アシスタント派遣事業

判定結果	見直しが必要
------	--------

### 【結果内訳】

判定		判定理由	
選択人数	区分	選択人数	項目（複数選択可）
0	不要 (廃止)		① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代変化により、事業が役割を終えている、又は役割が小さくなっている。
			④ 事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			⑤ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑥ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑦ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑧ その他
4	見直しが必要		① 事業規模(サービスの受給者・水準等)を縮小できる可能性がある。
			② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
		2	③ 他の事業との統合を検討すべきである。
		3	④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
		2	⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
		1	⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
			⑦ その他
3	現行どおり	3	① 現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。
			② 事業を拡充する必要がある。

### 【判定人からのコメント】

○「見直しが必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント
<p>① 将来の事を考える時予算が増えていく事が考えられるので、すぐには活動できるとは限らないが、ボランティア養成が必要かと考える。</p> <p>② 障がいのある子どもの保護者にとってはありがたい制度だし、必要なことだと思う。ただ、教員の本来の業務としての位置づけも必要ではないだろうか。</p> <p>③ 必要な事業ではあるが、ボランティアの活用やNPOへの委託も検討し、福祉分野との連携も必要ではないか。</p> <p>④ 学校支援ボランティア制度を活用する。</p> <p>⑤ 介護福祉との兼ね合いも検討してください。</p> <p>⑥ 他の支援サービスとの統合ができるのではないか。</p>	<p>⑦ 介護者は誰でもではなく、少なくともヘルパーの資格者がよいので検討を。</p> <p>⑧ 期待の大きさが伝わる事業だが、対象者が増えた時などを考えたシステム作りがあるだろう。今後は委託を含め様々なニーズで応えて欲しい。</p> <p>⑨ 福祉部門との連携をよくとって欲しい。</p> <p>⑩ 質の向上を図って欲しい。</p>